

# 記載例

## 職務経歴書

2021年10月〇日

魚沼 太郎

### 1【職歴の要約】

税理士事務所で約〇年にわたり、中小企業における決算処理及び税務申告業務を行ってきました。その後、上場企業の経理部門において、単体及び連結決算、有価証券報告書・法人税申告書・キャッシュフロー計算書作成など、経理業務に関する幅広い経験と、ERP導入業務をメインで担当した経験を有します。

### 2【職務経歴】

(1) ○○○株式会社 (19xx年4月～20xx年3月)

①会社の事業内容：

家電メーカー（東証2部上場）

資本金：□□□億円、売上高：□□□□億円（〇〇年度）、従業員数：  
□□□□名

②主な担当業務内容：

・仕訳、コンピュータ入力から、決算・税務申告まで（20社を担当）

③業務の詳細

・入社、経理部経理課に配属（課長以下8名）

・月次、年次財務諸表作成

[月次処理] 月次部門損益集計、試算表作成、売掛金、買掛金管理

[決算処理] 確定申告書、決算報告書、事業報告書作成、都道府県  
民税、市町村民税、法人税、事業所税の申告および納付

・子会社の経理業務全般

・仕訳、コンピュータ入力から決算、税務申告まで（会計システム  
「PCA会計」）

※新ERPソフトの導入に伴い、経理チーム代表として検証を担当

(2) ○○電気株式会社 (20xx年4月～現在)

①事業内容：

家電メーカー（東証2部上場）

資本金：□□□億円、売上高：□□□□億円（〇〇年度）、従業員数：  
□□□□名

②主な担当業務内容：

20xx年4月 入社、経理部経理課に配属（課長以下8名）

20xx年8月～現在 経理部経理課、課長に昇格（部下4名）

③業務の詳細

経理部経理課、課長に昇格（部下4名）

- ・時価会計担当、キャッシュ・フロー計算書作成
- ・公認会計士監査応答

※研究開発、税効果、退職給付などの新会計基準の導入と制度設計に  
貢献

**3 【資格、特技】**

- ・簿記2級（19xx年）
- ・税理士科目合格（簿記論、財務諸表論）（20xx年）

**4 【パソコンのスキル】**

Word、Excel、ACCESS

**5 【自己PR】**

現職では仕事に恵まれ、若手のうちから子会社の経理全般や連結決算を一人でやらせていただきました。現在は、管理職として2年目を迎え、先輩社員、新入社員を含めた4名の部下の指導・育成に努めております。また、変わっていく税制に対応するため税理士資格を取るため勉強を欠かしておりません。今後は、私の経験が活かせる新たなフィールドで研鑽を積みたいと考えております。

以上